

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	過疎・辺地地域の振興		
施策	① 過疎地域の自立促進と辺地対策の推進			
主な取組	公共県代行事業及び市町村道の整備	実施計画 記載頁	298	
対応する 主な課題	過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されていることから、定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興などを図るとともに、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりが課題である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	市町村道は、日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本であり、道路網の一環を形成する道路、合併市町村の中心部と周辺部を連絡する道路の新設及び改築、公共公益施設や商業施設等を効率的に連絡する道路の新設及び改築等の地域の生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等に資する道路整備を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	過疎・辺地地域の市町村道の整備					→	県 市町村
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
公共県代行事業	169,951 (42,951)	34,666 (31,639)	過疎・辺地地域の市町村道の整備(粟国村道) 【一括交付金(ハード)】	
活動指標名		計画値		実績値
-		-		-
-		-		-
推進状況	取組の効果			
<input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	粟国村道一周線は平成24年度完了の予定であったが、一部用地未買収部分があり未整備区間を残している。繰越予算にて用地買収の見込みであり、道路改良工事を実施して平成25年度に完了となる。 日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本である市町村道の整備促進により、生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等につながる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
公共県代行事業	123,973 (123,973)	過疎・辺地地域の市町村道の整備(粟国村道) 【一括交付金(ハード)】	

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

ほぼ計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
市町村道の道路改良率(過疎・辺地分)	62.7% (22年度)	—	増加	—	63.1% (22年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
状況説明	粟国村道一周線は平成24年度完了の予定であったが、一部用地で未買収部分があり未整備区間を残している。平成25年度に完了の予定であり、目標達成に向け今後も市町村道の整備促進を図る。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興などを図るとともに、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりが必要である。

4 取組の改善案(Action)

持続可能な地域づくりに向け、他事業との連携を図りつつ事業推進を図る。